

飯南町

人材育成アクションプラン

令和2年2月
島根県飯南町

目次

(1) はじめに

- ① 人材育成に取り組む背景と目的・・・02
- ② 人材育成アクションプランの位置づけ・・・03
- ③ 飯南町のまちとひとの現状・・・04
- ④ 求められる人材像・・・05

(2) 事業目的

- 人材育成アクションプランが担う役割・・・06

(3) 計画概要

- ① 人材育成アクションプランの期間と展開イメージ・・・07
- ② 人材育成事業の方向性・・・08

(4) 計画内容（具体的な取り組み）

- ① 各種事業及び担当課・・・09～13
- ② スケジュール・・・14～15

(5) 推進体制・・・16

(1) はじめに

① 人材育成に取り組む目的

本町では、“住民が主役の協働のまちづくり”を進めています。地域に暮らす一人ひとりの「思い」や「チャレンジ」を町職員や住民同士がサポートし合い、実現していくことで、一人ひとりが「飯南町での笑顔あふれる暮らし」を実感できる、豊かで活力ある地域社会の実現を目指しています。

協働のまちづくりを進める上では、行政組織内の連携を強化し、職員が組織を超えた視点や発想を持つことや住民一人ひとりが自分事としてまちに関わり、「このまちで何かをしたい」という思いを抱いていること、また、目的・目標の相互共有と人的ネットワークの構築、住民と町職員の対話の機会を創り出すことが大切です。

そのため、「飯南町人材育成アクションプラン」を策定し、幅広い分野を探求し、行政組織内外に横串を通せる職員の育成に力を入れるとともに、地域に暮らす一人ひとりが自分事としてまちに関わるきっかけづくりと、相互の思いを共有する対話の機会を創出していきます。

ひいては、住民と行政の間に横串を通し、様々なヒト・モノ・コトがつながりあうことでさらに活力を生み出す循環あるまちを目指し、飯南町で暮らす一人ひとりが笑顔で暮らせるよう、これまで以上に人材育成に力を入れていきます。

(1) はじめに

② 人材育成アクションプランの位置づけ

「次世代につなぐまちづくり基本条例」

住民と行政が一体となってまちづくりに取り組んでいくために、まちづくりへの住民の参加を推進すると共に、町づくり活動の支援や担い手の育成を推進する。

「第二次飯南町総合振興計画」

【基本方針】

「笑顔あふれるまち飯南町」を共通目標として、住民や企業などの活動の指針となり、共にまちづくりを行う。

政策分野①「住民が主役の協働のまちづくりを進める」

「飯南町人材育成基本方針」

【行政職員の育成】

飯南町総合振興計画を実現するために必要な職員の育成について定め、組織としての総合力を高めることを目的とする。

「飯南町人材育成アクションプラン」

【行政と住民の育成】

住民と行政が共に人材育成を進める課程の中で“ひとづくり”“まちづくり”の機運を醸成させ、まち全体としての活性化を目的とする。

(1) はじめに

③ 飯南町のまちとひとの現状

飯南町には、戦国の世の興亡の歴史を今に残す瀬戸山城址をはじめとする多くの城址や、出雲大社神楽殿の大しめ縄に代表される「しめ縄づくり」の技術と文化の伝承など、日本国内だけでなく世界に誇れる魅力が多くあります。また、旧来の地域づくりを担ってきた多くの先人達、今の豊かな地域を支えている飯南町民、現在の飯南町を形成している全ての人、飯南町にとって何よりもかけがえのない財（たから）です。

飯南町は住民同士の距離が近く、地域コミュニティの自立心が強いいため、地域行事が盛んに行われているなど、地域の運営に主体的に関わる人が多いのも特徴です。

一方で、人口減少は進行しており、この豊かな地域、歴史、文化を存続させていくために、また今後の予測不可能な未来に立ち向かうためにも、将来を見据えて考え行動ができる人材の育成、またより一層の住民同士の結びつきと、町職員と住民が協働できる環境を形成していくことが重要になります。

こういったポテンシャルや課題のなかで、まちの将来に危機感のある地域や年代では主体的にまちづくりに関わっていますが、そうでない地域や年代もあり、まちづくりに対する意識に格差があるという現状があります。

(1) はじめに

④ 求められる人材像

本プランの取り組みの目的を明確にするために、求められる人材像を下記の3つのポイントに整理し、飯南町民と飯南町職員を対象として人材育成事業を推進します。

- ① “住民が主役の協働のまちづくり”をデザインする職員像として、行政組織で横の連携ができる職員、行政組織を超えた視点や発想、人的ネットワークを持つ人材が求められます。
- ② 今後、人口減少社会においても、飯南町での“笑顔あふれる暮らし”を存続させられるよう、地域の担い手として主体的に参画する人材が求められます。
- ③ 住民と町職員の協働により、より良い地域づくり、まちづくりを目指すため、相互理解と多様性を認められる人材、飯南町の未来を本気で考え行動する人材が求められます。

(2) 事業目的

人材育成アクションプランが担う役割

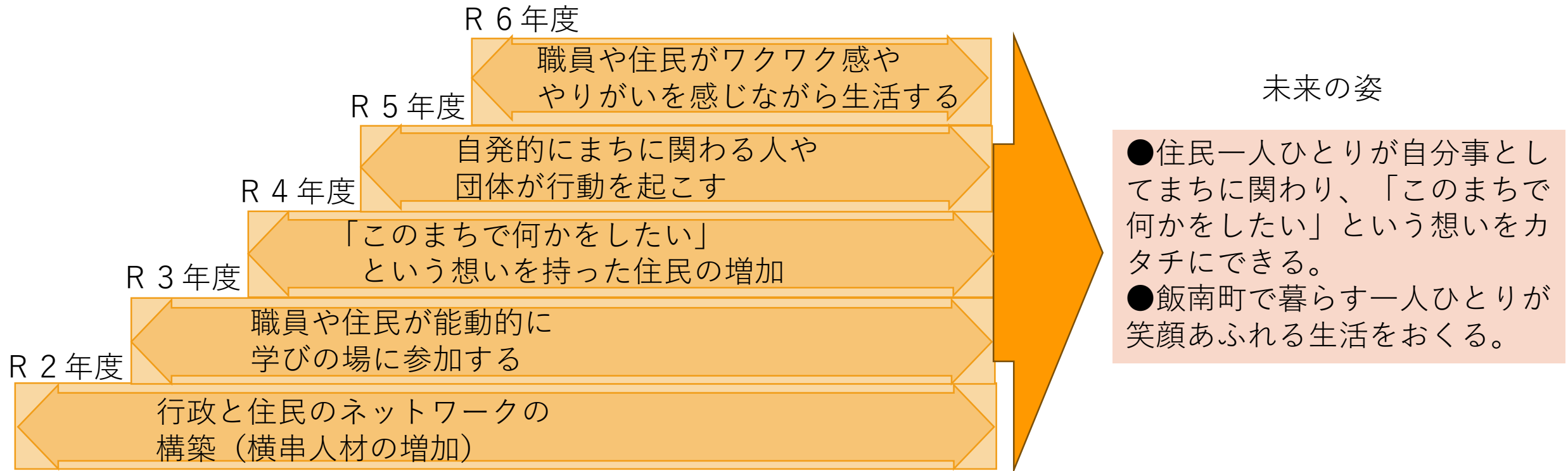
本プランのねらいは、広く多様なノウハウや知識を獲得し、横にネットワークを広げていく人材（横串人材）を育成することです。その中で、自分事としてまちに関わり、「このまちで何かをしたい」という想いを持つ住民を増やし、住民が主役の“笑顔あふれるまちづくり”を目指していきます。

そのために、住民、職員を対象に多様な人々の交流や対話からつながりを深める取り組みと並行して、住民の「このまちで何かをしたい」という想いを引き出すきっかけづくり、住民の想いの実現をサポートするために必要となる“組織を超えた視点や発想を持つ職員”の育成に取り組みます。それにより、協働のまちづくりを推進し、横にネットワークを広げる横串人材が育つ取り組みを循環させていきます。また、これらの動きによる「変化をチェック」しながら、プランの練り直しを行うことで、常に時流にあわせた取り組みを行っていきます。こういった一連の取り組みが本プランの担うべき役割です。

(3) 計画概要

① 人材育成アクションプランの期間と展開イメージ

本プランの計画期間は、令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までの5年間とし各年度の目指す状態を設定し、効果測定及びプランの更新します。



(3) 計画概要

② 人材育成事業の方向性

本プランの人材育成事業では、①飯南町職員、②飯南町民×飯南町職員の2本の柱で取り組んでいきます。

「飯南町職員の人材育成」

- ・ 地域活性化センター主催研修の受講
- ・ 職員派遣研修
(地域活性化センター・島根県)
- ・ 職員研修報告会の開催
- ・ 階層別意見交換の場づくり

「飯南町民×飯南町職員の人材育成」

- ・ 共創デザインスタジオ
「ヒトカラ~hitocolor~イイナン」の開催
- ・ ヒトカラ卒業生フォローアップ
- ・ まちづくり講演会の開催
- ・ i 座談会の開催など

(4) 計画内容

① 各種事業及び担当課

【職員向けの人材育成事業】

(1) 地域活性化センター主催研修の受講 【総務課】

- 地方分権や厳しい財政状況、多様化する住民ニーズなどに対応していくために必要となる、より高度な専門知識や課題解決能力の向上に向け受講します。また職員自らテーマを選択し受講することで、職員の能動的な学びに繋がります。
- 全職員を対象とします。年間6人の受講を目標とします（5年間で30人）。

(2) 職員派遣研修（一般財団法人地域活性化センター・島根県） 【総務課】

- さまざまなヒト・モノ・コトに触れることで、多面的視野・視点・視座を学べ、町外とのネットワークを形成します。
- 若手・中堅職員を対象とします。2年間を任期として、（一財）地域活性化センター1名、島根県1名を派遣します。

(4) 計画内容

① 各種事業及び担当課

【職員向けの人材育成事業】

(3) 職員研修報告会 【総務課】

- 研修に参加して満足するのではなく、自分の言葉で人に伝え、実践につなげていく過程を経ることで熟度を高めます。また、研修で学んだことをほかの職員と共有することで、組織的に知識を習得するための場になります。
- 全職員、住民を対象とします。年間に3回程度開催、各研修会には30人以上が参加することを目標にします。

(4) 階層別の意見交換の場づくり 【総務課】

- 階層別で集まる時間を作り意見交換や事業内容についての共有を行うことで、日頃から職員同士がコミュニケーションを取り合い、チームで仕事ができる環境を作ります。また、各階層で必要になる基礎的な能力についての研修をおこないます。
- 中堅層・若手層で年間2回程度開催し全職員対象を1回開催

(4) 計画内容

① 各種事業及び担当課

【飯南町民×職員向けの人材育成事業】

(1) 共創デザインスタジオ「ヒトカラ~hitocolor~イイナン」の開催【地域振興課など】

- 飯南町に住む、多様な人々が交流対話を深めるなかで、複雑化した社会問題に柔軟に対応できる考え方のプロセスを学ぶとともに、実践に必要なファシリテーションスキル・解釈力が身に付いた人材を育成します。
- 住民、職員を対象とします。年間20人の受講を目標とします（5年間で100人）。

(2) ヒトカラ卒業生のフォローアップ【総務課・地域振興課】

- ヒトカラ卒業生が実行したいコトなどを話す場を創出します。
- ヒトカラ卒業生を対象とします。年間3回開催します。

(4) 計画内容

① 各種事業及び担当課

【飯南町民×職員向けの人材育成事業】

(3) まちづくり講演会の開催【地域振興課】

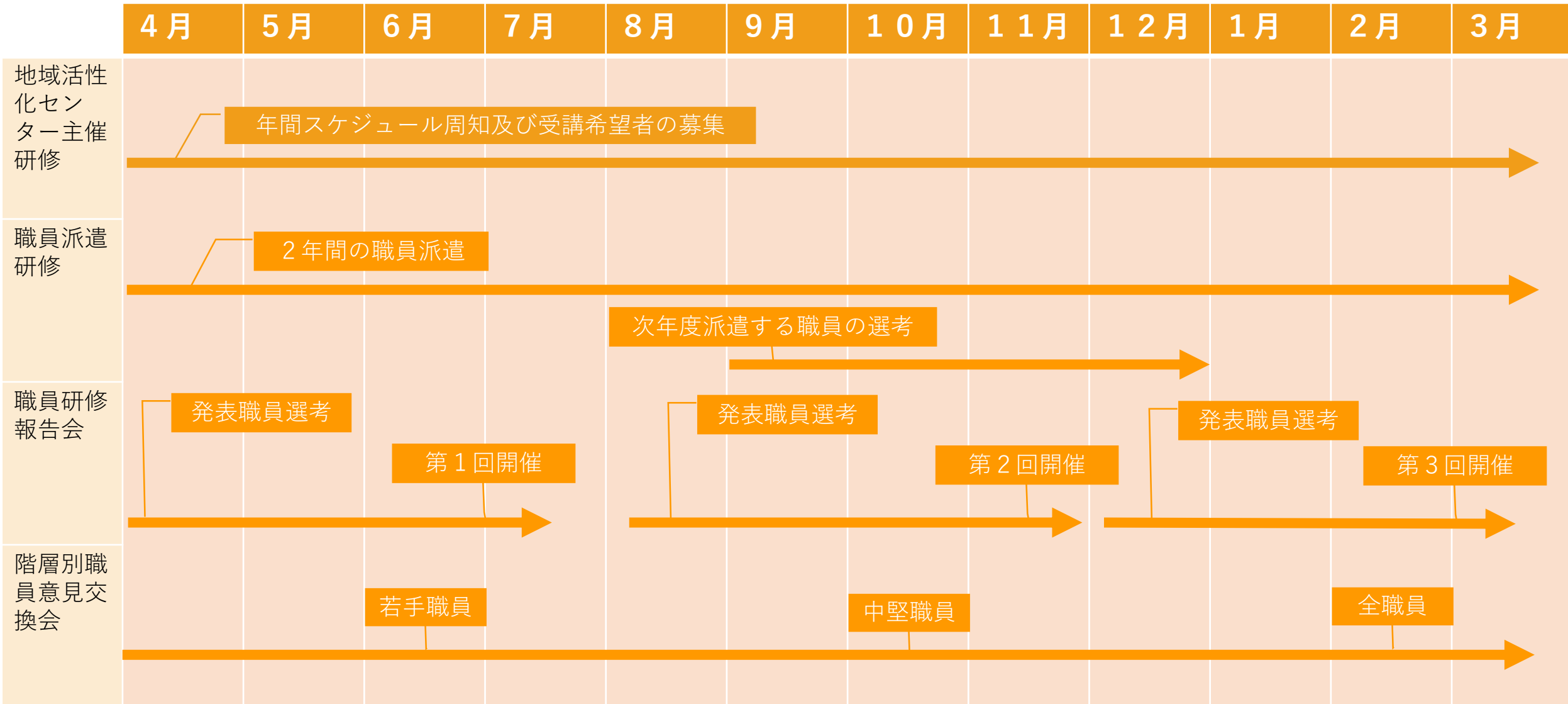
- 住民と職員のまちづくりの意識の向上と機運の醸成を図るため、まちづくりに関連する講師を招き、講演会を開催します。
- 住民、職員を対象とします。年間に2回開催し各講演会で50人以上が参加することを目標とします。

(4) i 座談会の開催など【企画財政課】

- 住民と行政、住民と住民が“ゆるく対話できる”機能を持たせることで、双方向に情報を共有し、まちの一員として普段の想いを伝える場を創出します。また、チームで仕事をするプロセスを学びます。
- 住民、職員を対象とします。年間に6回程度開催します。

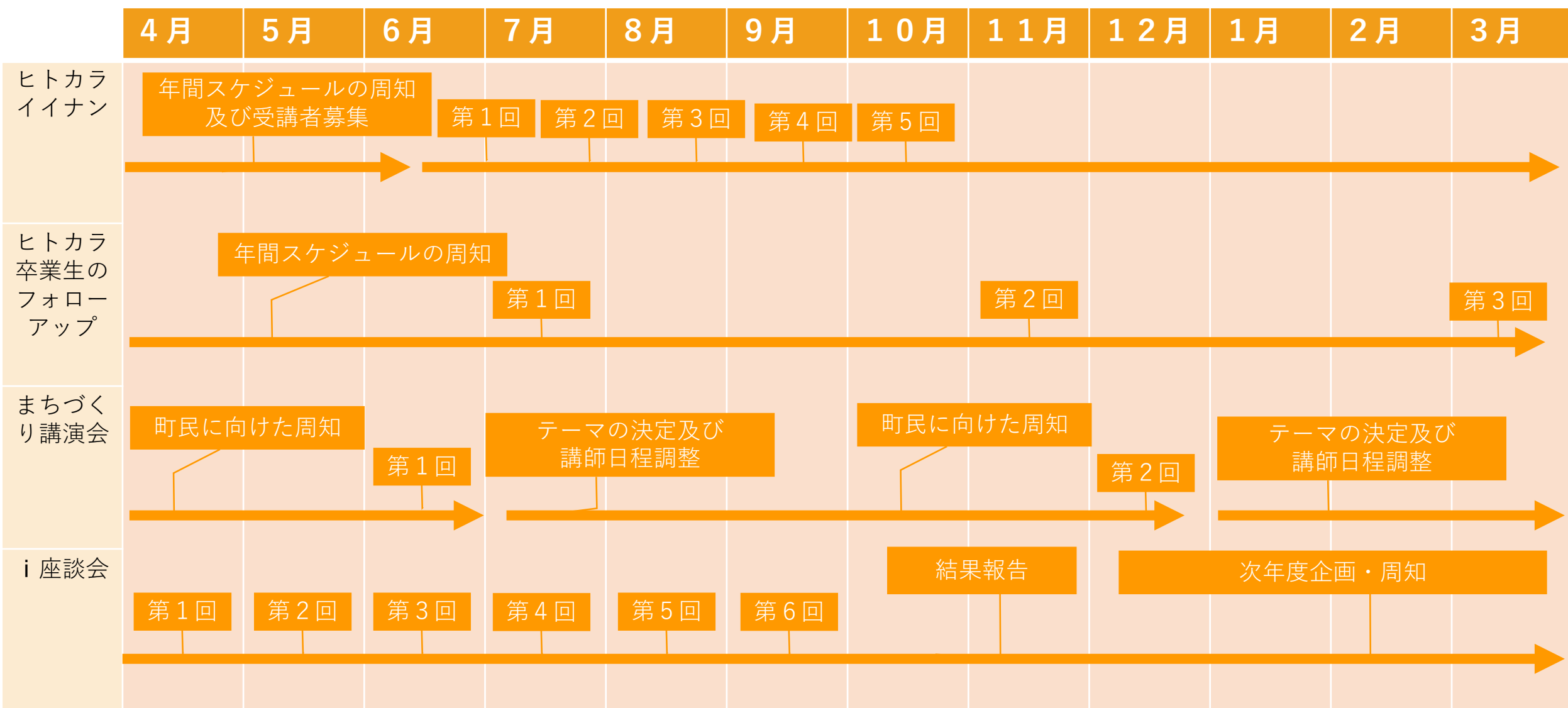
(4) 計画内容

②年間スケジュール（予定） 【職員向けの人材育成】



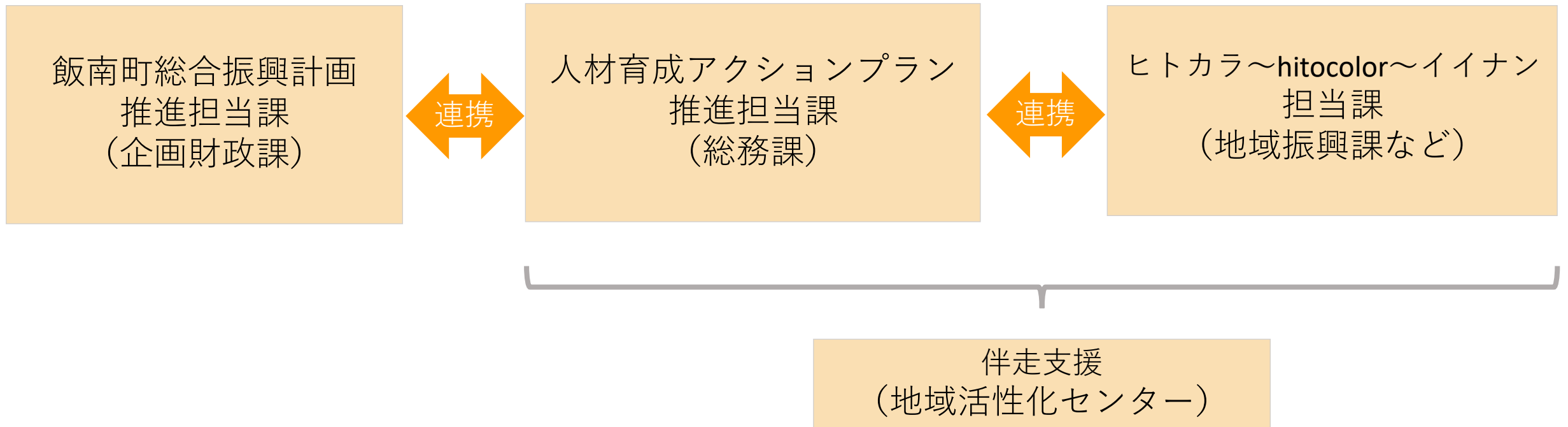
(4) 計画内容

②年間スケジュール（予定） 【住民×職員向けの人材育成】



(5) 推進体制

本プランを実行性のあるものにするために、「飯南町総合振興計画」及び共創デザインスタジオ「ヒトカラ~hitocolor~イイナン」との連携を図りながら推進していきます。また、本プランは適宜評価・改善を行いより良い人材育成を推進していきます。



名簿

飯南町人財育成連携事業推進検討委員会（※順不同）

委員長	塚原	隆昭	飯南町副町長
副委員長	大谷	哲也	飯南町総務課長
委員	那須	忠巳	飯南町企画財政課長
	吾郷	紘平	飯南町企画財政課主任主事
	長島	淳二	飯南町地域振興課長
	鎌田	恭輔	飯南町地域振興課主任主事
	岡田	敬依子	一財）地域活性化センターへ派遣
	吉弘	拓生	一財）地域活性化センター総務企画部企画課担当課長
	東出	幸太	一財）地域活性化センター総務企画部企画グループ副参事
	霧生	友孝	共創デザインスタジオ「ヒトカライイナン」1期生
	吾郷	由美子	共創デザインスタジオ「ヒトカライイナン」1期生
事務局	烏田	範昭	飯南町総務課主任
	景山	瑛太	飯南町総務課主事